



JR九州グループの会社説明会

2025年9月26日～27日

九州旅客鉄道株式会社

(東証プライム・福証／証券コード 9142)





本日お伝えしたいこと

JR九州グループについて

- JR九州グループのあゆみ
- JR九州グループの事業構成

JR九州の経営戦略

- JR九州グループの経営理念
- JR九州グループ中期経営計画2025-2027

決算ハイライト ・ 株主還元

- 2026年3月期第1四半期連結決算ハイライト
- 2026年3月期通期連結業績予想
- 株主還元方針
- 株主優待制度



JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成



JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成

JR九州グループのあゆみ

「日本国有鉄道」の分割民営化によりJR九州が発足

■ あらゆる事業に挑戦する精神

「鉄道事業だけに依存してはいけない」という思いで、
様々な事業に挑戦し成長を実現してきた



JR
JR九州
1987





JR九州グループのあゆみ（JR九州を表す数値）



年間輸送人員_(鉄道・バス)
3.3億人

「ななつ星 in 九州」ご利用者
40の国と地域

従業員数_(単体)
7,614名

グループ会社
43社

連結営業収益
4,543億円



JR九州グループのあゆみ（JR九州を表す数値）



駅ビル入場者
50万人/日

流通・外食店舗数
548店舗



分譲マンション竣工戸数
10,357戸

ホテル宿泊者
5千人/日



JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値を創出

● 鉄道事業



(D&S列車)

- ・ 1989年の特急「ゆふいんの森」の運行を皮切りに、現在では、10本のD&S列車（デザイン&ストーリー列車（観光列車））を運行
- ・ 2024年4月に「かんぱち・いちろく」がデビュー



(ななつ星 in 九州)

- ・ 2013年に日本で初めてのクルーズトレインとして誕生
- ・ 米国出版大手コンデナスト社の旅行誌の読者投票では「世界の豪華列車」部門で3年連続世界トップに選ばれる



(九州新幹線・西九州新幹線)

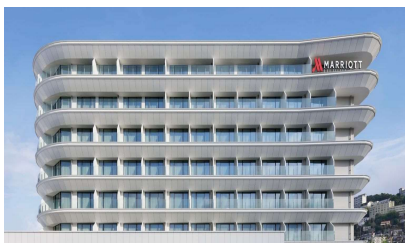
- ・ 2011年に九州新幹線（博多～鹿児島中央）が全線開業し、JR博多シティとの相乗効果で当社の成長はさらに加速
- ・ 2022年に西九州新幹線が開業し、西九州エリアの活性化を後押し



JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値を創出

● 関連事業



(不動産・ホテル)

- ・ 1989年に初の分譲マンション販売を開始
- ・ 1992年に「ホテルブラッサム福岡」を開業
現在、九州・沖縄、京都、東京、タイにて、20のホテルを展開
- ・ 1997年に初の駅ビル事業であるアミュプラザ小倉が開業
現在、九州の県庁所在地を中心に駅ビルを7箇所で開催
- ・ 2021年に物流事業へ参入
現在、九州内で物流不動産を5件稼働中、5件の開発に着手

(流通・外食)

- ・ 2002年には、飲食店「うまや」を東京・赤坂に開業するなど、東京、九州で外食事業も展開

D&S列車紹介動画「のる、たび、よろこび。」





JR九州グループについて

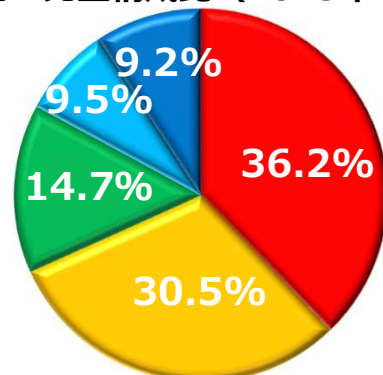
JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成

JR九州グループの事業構成

- JR九州グループは、九州全域に鉄道網を有する鉄道をコア事業とする企業グループ
- 駅ビルやホテル、マンション、建設、流通や外食事業など、鉄道事業との相乗効果が
高い領域を中心にその事業領域を拡大
- 鉄道以外の事業による売上が**約6割**となっており、事業の多角化が進んでいる

【セグメント別 売上構成比（2025年3月期）】



不動産・ホテル



流通・外食



建設



ビジネスサービス

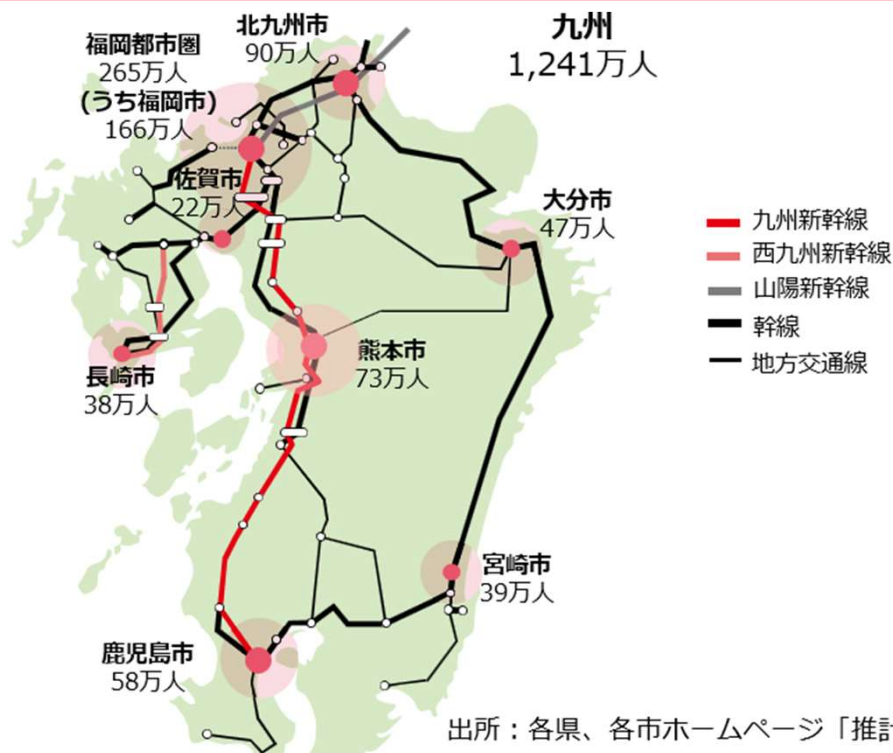


運輸サービス



JR九州グループの事業構成(全国屈指の経済基盤を有する九州)

- 九州は『日本の1割経済』という位置付け(域内総生産、総人口、総面積、事業所数等)
- 福岡市及びその周辺は人口増加が見込まれる成長性の高い都市
- 40万人以上の人口を有する都市が九州全体に分散
- 九州は人口減少が進んでいるものの、強固な経済基盤を有している



JR九州グループの事業構成(豊肥本線エリアの現況)

- 半導体企業の集積により、交流・沿線人口の増加が見込まれる
- 新駅～原水駅間を対象としたまちづくりの検討や、肥後大津駅最寄りのオフィスビルの開発に取り組む

(仮称) 原水駅周辺土地区画整理事業

- ・当社を含むコンソーシアム(代表企業:三井不動産株式会社)が事業認可までの要件整理を担当する事業検討パートナーに選定。菊陽町が描く将来ビジョンの具体化を検討。

委託期間	2026年3月31日まで
対象エリア	新駅～原水駅間の約70ha
その他	今後、事業認可後の土地開発等を担当する事業推進パートナーの公募が行われる予定(時期未定)



(仮称) JR肥後大津ビル開発計画

- ・半導体サプライヤーを始めとした企業の拠点を想定。
 - ・肥後大津駅から徒歩2分
TSMC熊本工場も位置する、
セミコンテクノパークまで車で約8分
- 竣工:2027年1月(予定) 延床面積:9,212㎡

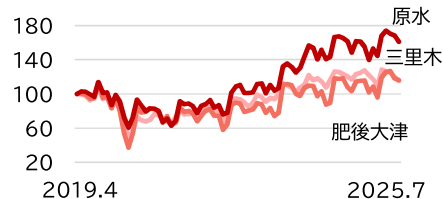


TSMC熊本工場(第1工場)

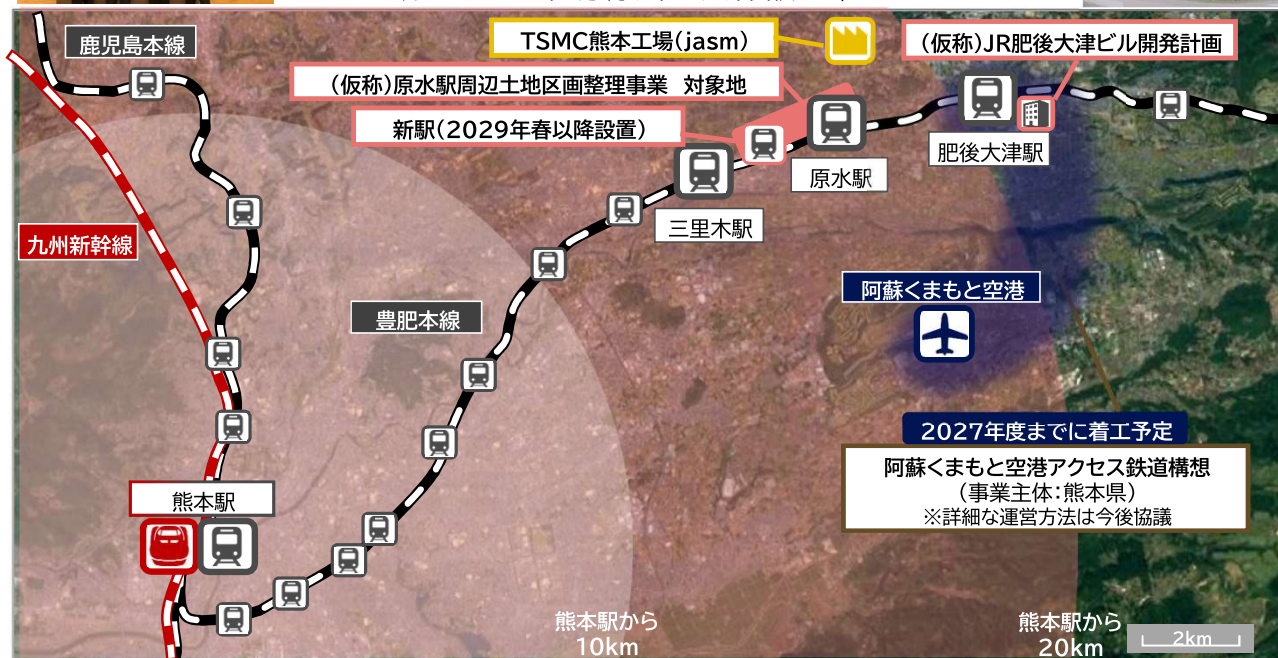
所在地:熊本県菊陽町
稼働時期:2024年12月～
その他:第2工場は第1工場
周辺にて年内着工予定。



乗車人員推移



※2019年4月の乗車人員=100として指数化



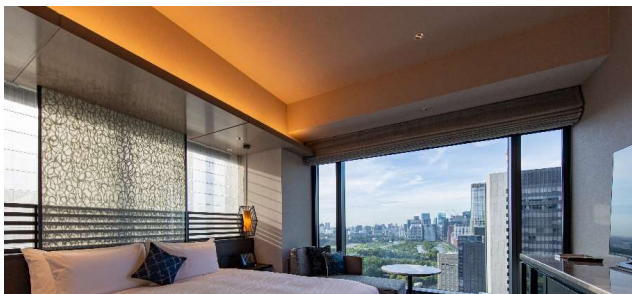
画像 ©2024 TerraMetrics, Airbus, Google、地図データ©2024 Google

JR九州グループの事業構成(首都圏エリアでの事業)

ホテル・マンション・物流不動産事業や流通・外食事業等を積極的に展開

THE BLOSSOM HIBIYA

- ・新橋駅付近に位置。当社グループの宿泊特化型ホテルの最上位ブランド



MJR深川住吉

- ・当社における東京での初の分譲マンションとして開発（2024年3月引渡）



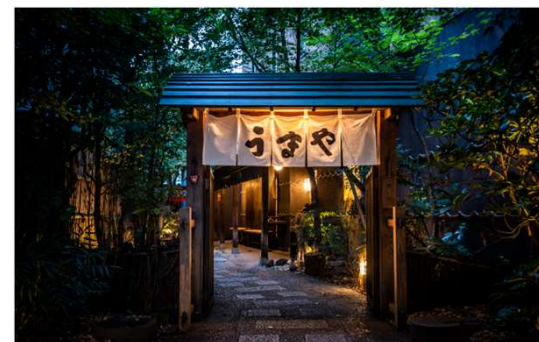
ロジクロス三郷

- ・首都圏初の物流施設として、三菱地所株式会社、株式会社住友倉庫と共同開発。埼玉県三郷市にて2026年8月竣工予定



赤坂うまや

- ・九州の食材にこだわった料理を提供、赤坂見附駅から徒歩3分





JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



九州の元気を、世界へ

魅力あふれるまちづくりを通じて、
九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。
九州に住む人、九州を訪れる人、
そして JR 九州グループをご利用の
世界中の人を元気にしていきます。



JR九州グループ経営理念

わたしたちの夢

九州の元気を、世界へ

魅力あふれるまちづくりを通じて、九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。

九州に住む人、九州を訪れる人、そしてJR九州グループをご利用の世界中の人を元気にしていきます。

使命

安全を最優先し、

お客さま視点で考え、

安心で快適な毎日と

“わくわく”するときをつくる。

おこない

誠実

常に誠実さを貫き、自分に、そして社会に誇れる仕事をする。

共創

人や地域、多様な仲間と未来につながる価値を共創する。

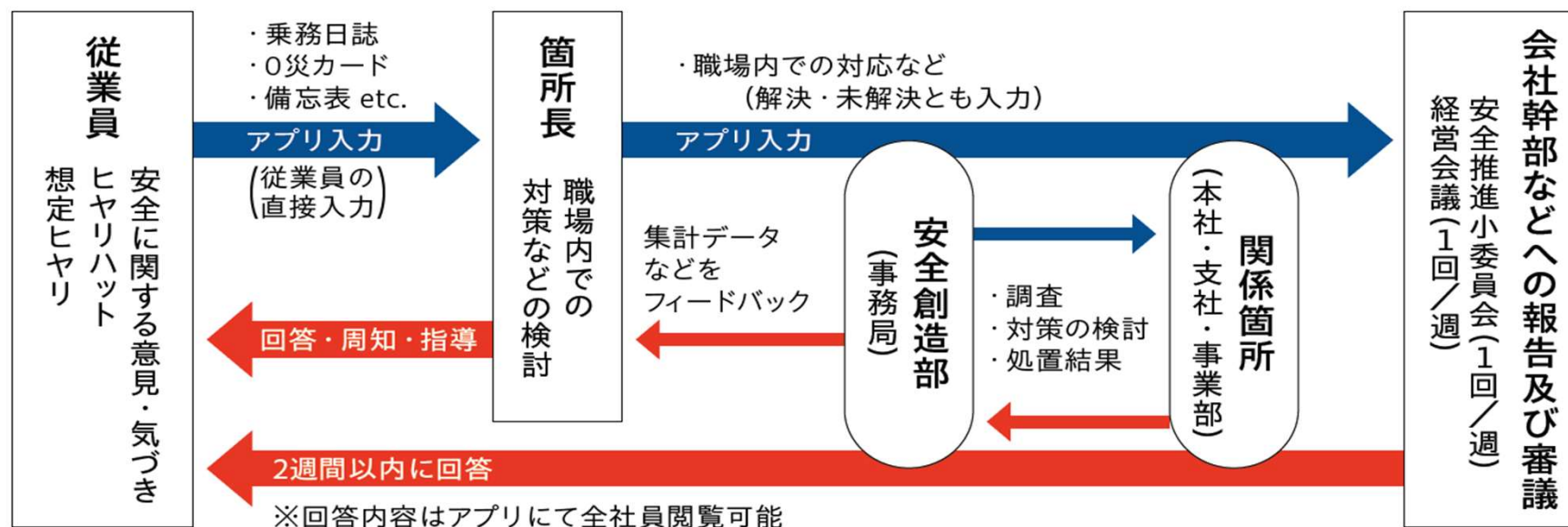
挑戦

柔軟な発想を持ち、成長のための挑戦を続ける。

安全の創造

JR九州グループが最優先すべきは「安全」

「安全に関する社員の声」のフロー



「安全に関する社員の声」による改善事例

2024年度
安全に関する社員の声
16,616件

声の内容

八幡駅にて、ホームから線路内に立ち入るお客さまを確認。現場を確認すると線路沿いにあるフェンスが一部なく、外からも出入り可能な状態であった。



対策

お客さまが線路内に立入できないように、空いていた隙間にPCフェンスを設置しました。



企業CM「九州の元気を、世界へ」





JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな
モビリティサービスの
実現

②事業間連携の
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を
踏まえた人的資本拡充

環境課題への
統合的なアプローチ

DX活用範囲の
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

JR九州グループ中期経営計画2025-2027

数値目標

営業収益 **5,300** 億円 営業利益 **710** 億円

EBITDA **1,150** 億円 ROE **現行水準の維持**

セグメント別目標*

(単位:億円)

セグメント名	営業収益	営業利益
運輸サービス	1,890	205
不動産・ホテル	1,670	340
流通・外食	800	40
建設	1,100	80
ビジネスサービス	880	55

*セグメント毎の営業収益・営業利益はセグメント間取引消去前

キャッシュアロケーション



財務健全性(2027年度見通し)

D/EBITDA 5倍程度

自己資本比率 40%程度

JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな
モビリティサービスの
実現

②事業間連携の
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を
踏まえた人的資本拡充

環境課題への
統合的なアプローチ

DX活用範囲の
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | 鉄道事業における需要創出の取り組み

他社とのコラボイベントや割引きっぷの企画を通して移動需要を喚起、鉄道のトップライン向上に取り組む

PIKMIN×JR九州(2024年12月～2025年6月)



▲駅前広場でのイベント



▲ラッピングトレイン

任天堂のゲームソフト「ピクミン」シリーズとタイアップ

博多駅をはじめ各駅前広場でのイベントやラッピングトレイン、JR九州アプリを活用したデジタルスタンプラリー等を実施

ターゲット別 割引きっぷ



▲こどもぼうけんきっぷ



▲免許返納おでかけきっぷ

HKT48×JR九州(2025年7月～2026年3月)



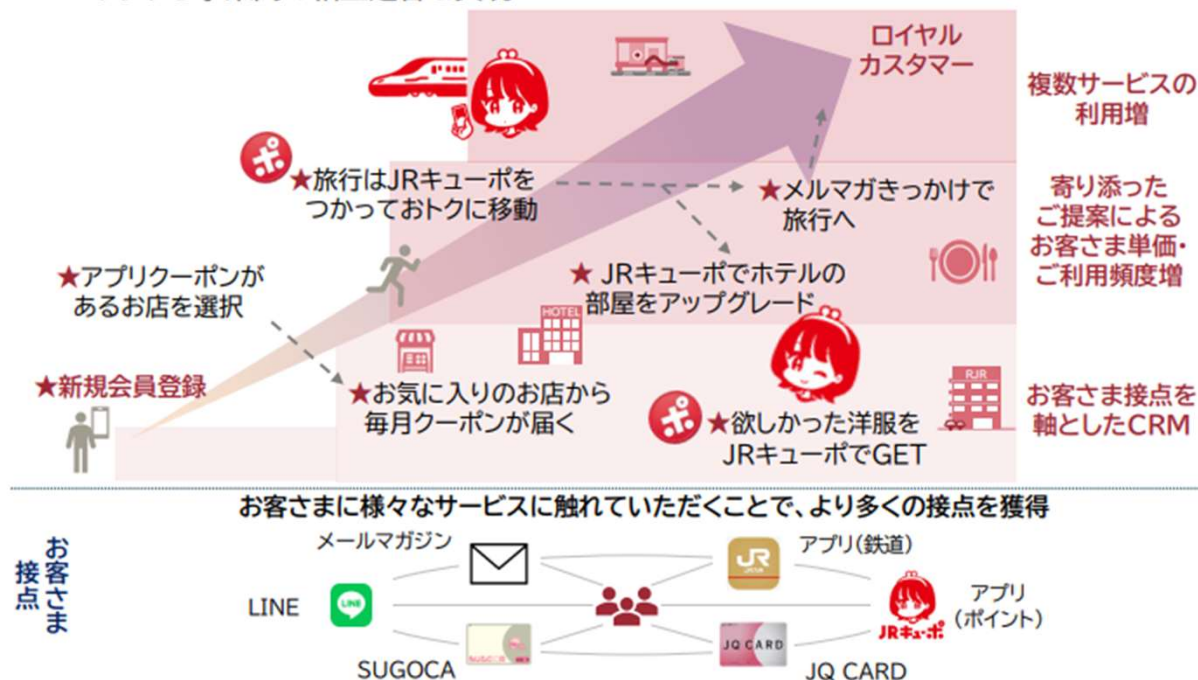
▲ご当地アイドルとのコラボ企画

重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | CRM施策の強化

- 新たなお客さまの獲得に加え、ロイヤルカスタマー化を図ることでお客さま単価・ご利用頻度増につなげ、トップライン向上に寄与
- CRM施策強化による事業間の相互送客を推進し、にぎわうまちづくりに貢献

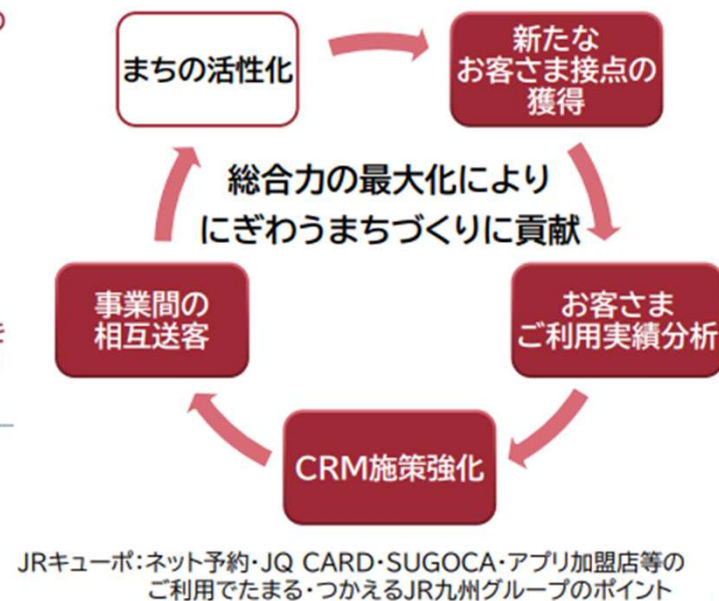
事業間連携強化によるお客さま満足の上(イメージ)

- ・ データを活用したコミュニケーションによりお客さまと強固な関係性を構築し、あらゆる事業間の相互送客を実現



事業間連携強化に向けた仕組み

- ・ お客さまのご利用データを統合的に分析し、CRM施策の推進によりお客さま接点を拡大・強化
- ・ 中長期的に、当社グループ事業での相互送客を実現



重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 九州大学箱崎キャンパス跡地開発

地域社会や他社との連携を図ったまちづくりを推進

- ・ 2024年4月に当社を含む8社の企業グループが優先交渉権者に選定
- ・ 約28.5ヘクタールの広大な敷地に住居、業務研究、商業、医療、教育等の多様な都市機能を配置
- ・ 再生可能エネルギーの活用や豊かなみどり空間の整備などにより、都市の中に自然を取り込んだ快適な環境を創出
- ・ 安全・健康・移動・防災・エネルギーなど生活全体を支え“人生の質を高める”スマートサービスを導入することで、持続可能なまちづくりを目指す

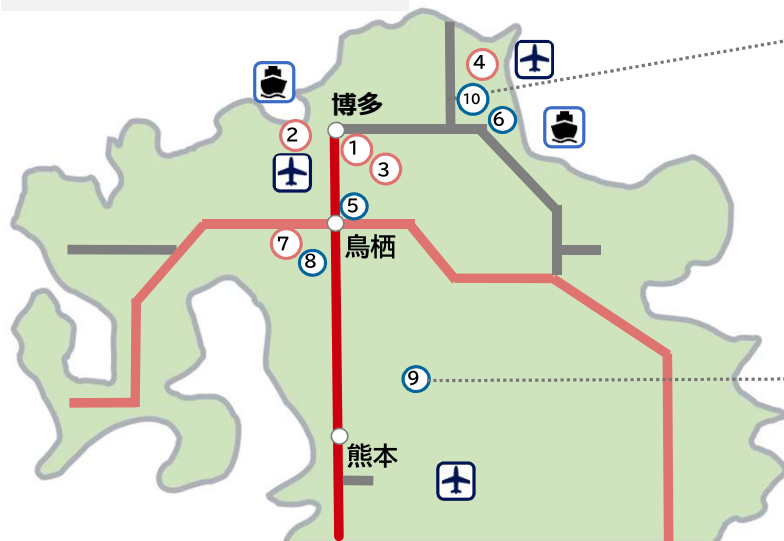


重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 物流不動産の取り組み

物流不動産事業を拡大。他社との連携も活用しつつ、物件の取得・開発を積極的に推進

自動車道

- 九州自動車道
- 長崎自動車道、大分自動車道、東九州自動車道
- その他



(仮称)北九州長野津田物流施設

- 吉田海運との2件目の共同開発事業

所在地：福岡県北九州市
延床面積：約32,400㎡
竣工：2027年1月(予定)



菊池市旭志伊坂開発

- 熊本県初の自社開発物件
- 半導体関連産業が集積する
セミコンテクノパークから
約7km

所在地：熊本県菊池市
延床面積：約16,800㎡
竣工：2027年春(予定)



九州内物流不動産 ()内、延床面積

- 稼動中 ● 5件
- 開発中等 ● 5件

- ① 福岡北物流センター (約11,600㎡)
- ② 箱崎心頭物流施設 (約25,600㎡)
- ③ 須恵第一物流センター (約12,300㎡)
- ④ 新門司物流施設 (約14,400㎡)
- ⑤ LOGI STATION福岡小郡 (約85,300㎡)

- ⑥ LOGI STATION福岡苅田 (約15,900㎡)
- ⑦ 神埼物流施設 (約9,200㎡)
- ⑧ サザン鳥栖クロスパーク開発事業 (未定)
- ⑨ 菊池市旭志伊坂開発 (約16,800㎡)
- ⑩ (仮称)北九州長野津田物流施設 (約32,400㎡)

重点戦略③ 未来への種まき

未来への種まきとして、適切なリスクテイクを通じた新規事業創出やレジリエンスの更なる強化に積極的に取り組む

目的

- デジタルテクノロジーの発展をはじめとする外部環境変化の有効活用
- 新規領域に加えて、既存事業への新たな活力の注入

取組み

- VC(ベンチャーキャピタル)への出資等を通じた新たな共創
- 専任チームの強化

新たな事業
機会の創出



レジリエンス
の強化

目的

- 資本効率性の向上
- 人流に依存した事業PFの改善
- お客さまとの豊富な接点の活用

取組み

- 人流に依存しない事業領域の拡張(M&Aの活用等)
- PMI高度化、経営人材の育成・登用



系統用蓄電事業
(でんきの駅)

社会課題解決

環境ビジネス等の
社会課題解決と経済性の
両立が可能な事業の探索

新技術の活用

多様化するニーズへの適応や
新たな需要の創造



空飛ぶクルマ



跨線道路橋の包括的維持管理

BtoB、BtoG市場の開拓

鉄道建設を中心とした既存事業の
ノウハウを活用できる市場への
積極的な参画

重点戦略③ 未来への種まき

ベンチャー企業等と連携し、AIの活用や空飛ぶクルマの運航に向けた取り組みを加速

Tokyo Artisan Intelligence 株式会社との資本業務提携



新幹線軌道モニタリング装置



支障物検知AIシステム

- 鉄道事業では2030年までに140億円以上の収支改善を目指す未来鉄道プロジェクトに取り組んでいる
- 2022年から未来鉄道プロジェクトにおいて省力化および省人化に寄与するAIプロダクトの技術開発で協業している

株式会社 SkyDriveとの資本業務提携



- 2024年7月に連携協定を締結、2025年2月には大分県と「空飛ぶクルマ」の運航に向けた包括連携協定を締結し、事業検討を重ねている
- 当社グループのビジネス領域の拡大や九州エリアの価値向上を目指す

JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな
モビリティサービスの
実現

②事業間連携の
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を
踏まえた人的資本拡充

環境課題への
統合的なアプローチ

DX活用範囲の
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

経営基盤① 労働市場の変化を踏まえた人的資本拡充

- 社員の“個”の力の最大化による当社グループの成長を目指し、人材戦略を策定
- 価値創造の源泉である人材への投資(待遇改善、人材育成)を加速

2つの基本方針

- 社員が働きがいを持ち、いきいきと活躍できる会社づくり
- 人間力と実務力を持った社員の育成

人間力

- 自分を「もっと高めよう」、会社を「もっと良くしよう」と考え、どん欲に努力する
- 多様な価値観を受け入れ、協働するとともに後輩や部下を育成する
- 5Sやあいさつを大切に、手間を惜しまず、嘘、偽り、ごまかしのない行動をとる
- お客さまや地域の方々、お取引先からの信頼を得る

実務力

- 自らの業務をやり遂げ、業務や事業の成長と進化に積極果敢に挑戦する
- 高い視点と広い視野を持ち、経営に参画する
- 自ら進んで勉強し、自分のレベルアップに積極的に取り組む
- 地域の方々や自治体等、社外の方々との連携により、成果を最大化する

人材戦略の5つの柱

- 安全を最優先し、お客さま視点で考える社員を育む組織づくり
- 意欲と能力のある社員への挑戦・成長の機会の提供と支援
- 一人ひとりが持つ価値観や能力を活かせる風土と仕組みづくり
- 努力と成果に応じたメリハリのある評価と報酬
- ライフプランに合わせた柔軟な働き方が選択できる環境整備と健康経営の推進

経営基盤① 労働市場の変化を踏まえた人的資本拡充

人材戦略に基づいた具体的な取り組みを加速

明るく楽しい会社づくりプロジェクト

社員が誇りを持ち、誰もがいきいきと活躍する会社づくり「明るく楽しい会社づくりプロジェクト」を実施しています



意識改革



公平な機会の提供



活発な意見が飛び交う風土の醸成

研修や意見交換会



▲明るく楽しい会社づくり研修

対話によって多様な価値観を認め合うことが必要であることを学び、体感する集合研修を実施



▲職場対話会

安心して意見や気持ちを発言できる環境をつくり、誰もがいきいきと活躍できる職場にするために自分は何ができるかを考える対話会を実施



▲経営陣と社員との意見交換会

2024年度は本社に勤務する社員を対象に対話型の意見交換会を128回実施

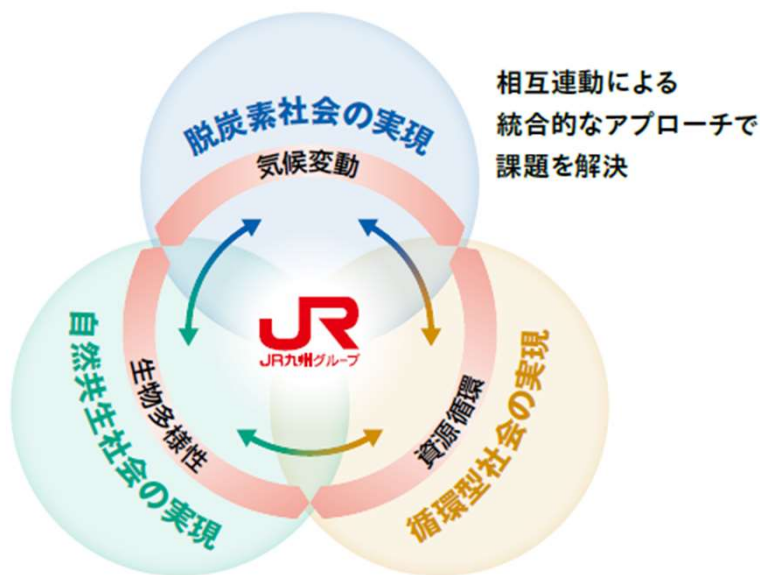
経営基盤② 環境課題への統合的なアプローチ

「JR九州グループ環境ビジョン2050」を策定

3つの領域に対して統合的にアプローチ

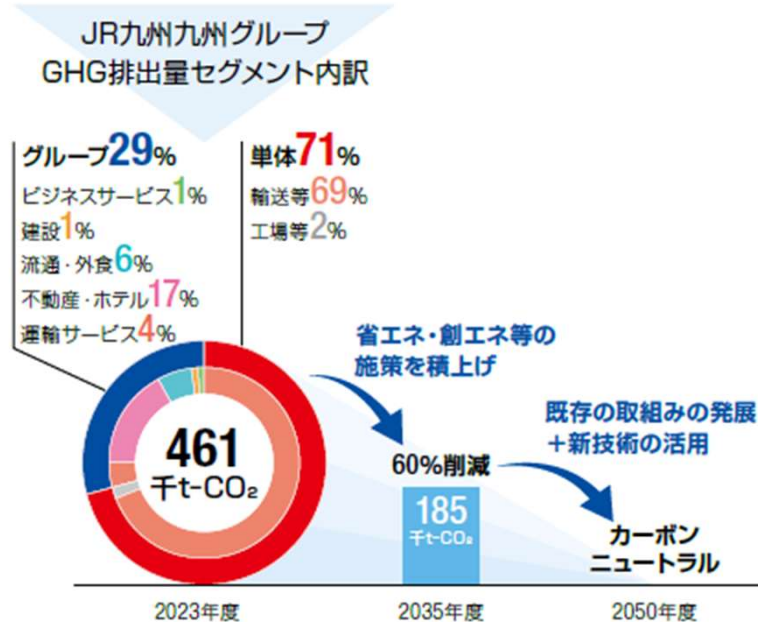
気候変動に加え、資源循環や生物多様性の3つの領域に対して統合的にアプローチし、環境課題の解決を目指します。私たちは、自然と共生した未来の創造に取り組んでまいります。

地域・お客さま・事業パートナーと共創する、
自然と共生した未来



脱炭素移行計画

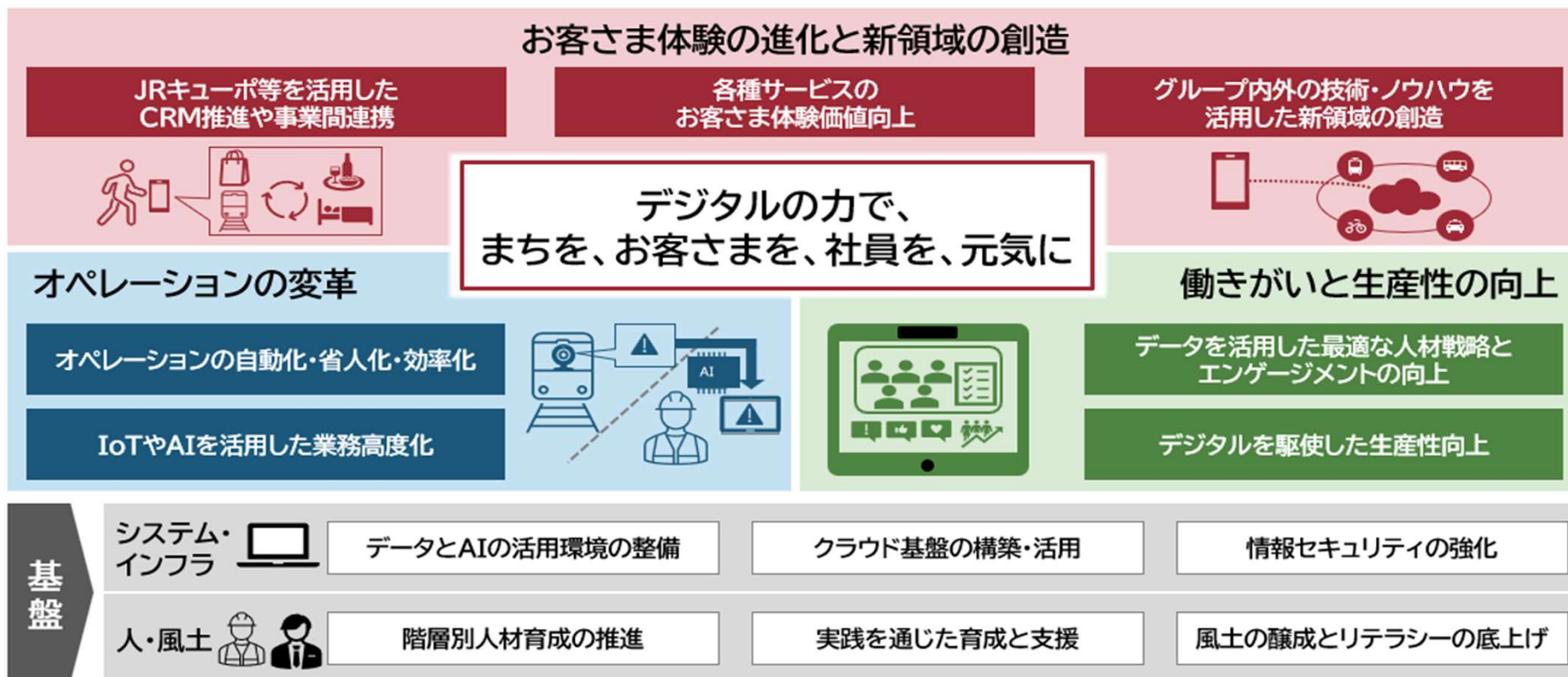
各セグメントの特性や事業性を踏まえながら、具体的な施策を積み上げたロードマップを策定し、取組の実効性を高めています。これにより、カーボンニュートラルの実現を見据えた着実な取組を推進しています。



経営基盤③ DX活用範囲の拡大と深堀り

「JR九州DX戦略」を推進

- ・経営理念と重点戦略の方針を踏まえながらDXの力でグループを取り巻く課題を解決していくための新たな指針を策定
- ・新たなサービスや付加価値へと発展させることで既存事業を強化しつつ、新たな価値創造に挑戦



★ 経営基盤④ グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

適切なリスクテイクの促進

取締役会の 独立性の確保	独立した社外取締役の比率を原則過半数とすることを、取締役会で決議し、コーポレートガバナンス基本方針に明記
役員報酬の 見直し	業績・企業価値の向上に対する動機付けを強化する方向で指名・報酬諮問委員会で見直しを検討

グループガバナンスの強化

新たな取組み	- 安全に関するリスク特定及び対策の明確化 - グループ全社の業績評価に安全の項目を追加 - グループ監査体制強化、全社に安全担当役員を選任 - グループ会社における安全に関する定例会議の開催 - 社会的影響の大きな事象等が発生したグループ会社へのモニタリングの実施
継続・強化する 取組み	- 法的な規制やガイドラインの遵守状況の確認 「JR九州グループ全社安全推進会議」の開催 - グループ全社トップに対するコンプライアンス研修の強化 - 新任役員等に対するマネジメント研修等の開講 - グループ全社への内部通報制度の浸透



決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第1四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度





決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第1四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度



2026年3月期 第1四半期連結決算ハイライト

運賃・料金改定による鉄道旅客運輸収入の増加や、不動産販売収入が増加したことなどにより、連結営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年増収増益

(単位:億円)

	2025年3月期 1Q累計実績	2026年3月期 1Q累計実績	対前年	
営業収益	1,041	1,175	133	112.8%
営業利益	147	199	52	135.8%
経常利益	151	204	52	135.0%
特別損益	1	9	8	649.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	114	163	49	143.6%
EBITDA ^(※)	236	292	56	123.8%

※EBITDA=営業利益+減価償却費(転貸を目的としたリース資産に係る減価償却費除く) 以下、全て同様です。

2026年3月期 連結通期業績予想ハイライト

運賃・料金改定実施などにより、連結営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増収増益見込み

(単位:億円)

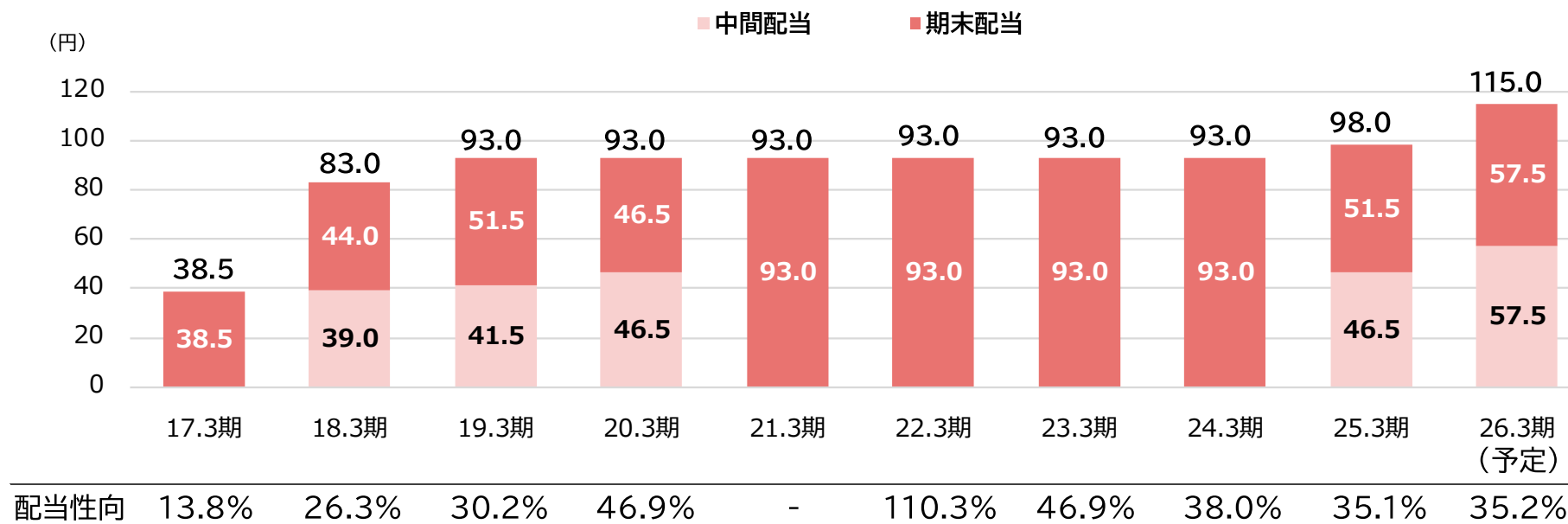
	2025年3月期 実績	2026年3月期 通期予想	対前年		中期経営計画 2025-2027 数値目標
営業収益	4,543	4,833	289	106.4%	5,300
営業利益	589	676	86	114.6%	710
経常利益	595	659	63	110.6%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	436	511	74	117.0%	—
EBITDA	959	1,064	104	110.9%	1,150



株主還元

- 株主還元は長期安定的に行っていくことが重要と考え、2028年3月期までの間は、連結配当性向35%以上の配当を実施するとともに、機動的に自己株式取得を行う
(前中期経営計画期間と比較して配当額は増加する見込み)
- 2026年3月期の配当予想は、1株当たり年間配当金115円

(参考)1株当たり年間配当金の推移





決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第1四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度

★株主優待制度

2種類の株主優待（3月31日を基準日として6月下旬に送付しています）

鉄道株主優待券

1枚につき、お一人様の運賃が1日無料（**1日乗車券タイプ**）
特急列車・新幹線にご乗車の場合は、別途特急券が必要

JR九州グループ
株主優待券

JR九州グループの各利用対象施設で現金同様にご利用可能な
2,500円分の金券

株主優待制度の拡充（2025年7月1日より）

<JR九州グループ株主優待券>

2025年7月1日より**電子化**し、利用対象施設を**新規追加**

<長期保有株主優待制度>

継続保有期間を**3年から2年に短縮**し対象範囲を拡大

株主優待制度(鉄道株主優待券)

- お一人様1日限り、JR九州管内の快速・普通列車に乗り放題(日田彦山線BRT含む)
- 別途特急券等をご購入いただければ、特急列車・新幹線、D&S列車にもご乗車いただけます。
- 鉄道株主優待券と併用する特急券は、券売機やインターネット予約でも購入いただけます。

＜ご利用の際の運賃・料金のイメージ＞

博多→鹿児島・指宿温泉へ

(大人お一人さまで九州新幹線自由席、特急「指宿のたまて箱」指定席、片道利用の場合)

通常料金: 13,750円(運賃: 6,820円、新幹線自由席: 5,150円、特急指定席1,780円)

優待料金: 6,930円(運賃: 0円、新幹線自由席: 5,150円、特急指定席1,780円)



株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました！

「JR九州グループ株主優待券」を電子化

おすすめポイント

- メリット① お手元のスマホで簡単に使える！
- メリット② 1円単位で使える！
- メリット③ 紛失のリスク低減！
- メリット④ 紙の使用量削減につながり、環境にやさしい！



利用手順



お気に入り登録をすると
毎回の読み取りが不要になります。

株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました！

JR九州グループ株主優待券の利用対象施設を新規追加

※JR九州リテール株式会社が運営する九州のお土産セレクトショップ「銘品蔵」全店舗と
JR九州フードサービス株式会社が関西地区で運営する「こめらく」を新規追加



博多銘品蔵 博多口店



こめらく 贅沢な、お茶漬け日和。
阪急西宮ガーデンズ店

株主優待制度(長期保有株主優待制度)

2025年7月1日から拡充しました！

長期保有株主優待制度の内容を拡充し継続保有期間を2年に短縮

ご優待内容

「鉄道株主優待券」と「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行

発行基準

毎年3月31日を基準日として、500株以上を保有し、かつ100株でも継続して**2年**以上保有

所有株式数	鉄道株主 優待券	長期保有 株主優待	JR九州グループ	長期保有 株主優待
			株主優待券	
100株～500株未満	100株毎に 1 枚	—	一律2,500円分	—
500株～1,000株未満	100株毎に 1 枚	1 枚追加	一律2,500円分	1,000円分追加
1,000株～10,000株未満	10枚 + 1,000株超過分 200株毎に 1 枚	2 枚追加		2,000円分追加
10,000株～20,000株未満	55枚 + 10,000株超過分 300株毎に 1 枚			
20,000株以上	100枚			

例) 2025年3月31日時点での所有株式数が500株以上であれば、
直前2年間の保有株式数が500株未満であっても長期保有株主優待の対象となります。

★ 社長から皆さまへの動画メッセージ

当社グループは「安全を最優先し、お客さま視点で考え、安心して快適な毎日と“わくわく”するときをつくる。」ことを「使命」として、「九州の元気を、世界へ」届けることを「わたしたちの夢」として掲げています。

これらの経営理念の実現を目指し、実行していく戦略として「JR九州グループ中期経営計画2025-2027」を策定しています。

これからも持続的な成長に向けて、積極果敢に挑戦するとともに、当社グループに関わるすべての方の元気をつくることに挑戦し続けることで、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

★ 本日のまとめ

JR九州グループ について

主たる事業フィールドである九州を中心に、鉄道事業のみならず不動産、流通・外食事業等さまざまな分野に進出し、**持続的な成長に向けて積極果敢に挑戦する企業グループ**

JR九州の 経営戦略

JR九州グループ経営理念を一新するとともに、
「JR九州グループ中期経営計画2025-2027」を策定。
「サステナブルなモビリティサービスの実現」、「事業間連携の強化によるまちづくり」、「未来への種まき」を重点的に取組む

決算ハイライト ・ 株主還元

- ・ 2026年3月期第1四半期は対前年で**増収増益**
(**連結営業収益、営業利益、経常利益は過去最高**)
- ・ 連結配当性向35%以上の配当を実施し、機動的に自己株式取得を実施
2026年3月期の配当予想は1株当たり**年間配当金115円**
- ・ 株主優待は2種類 (**長期保有株主優待制度あり**)

株主さま向け限定イベントの開催(過去の開催実績)

株主さまに当社事業への理解を深めていただくべく、各種イベントを開催

株式上場7周年記念キャンペーン



JR九州社長によるトークショー＆「SL人吉」「A列車で行こう」貸切ツアーの様子

熊本総合車両所見学ツアー

- 熊本総合車両所にて新幹線の点検行程等を見学



九州外で開催のイベント



関東地区（赤坂うまや）にて写真家村上悠太氏をお招きしてトークショーを開催

株主さま向けメルマガ会員限定イベント



鉄道フェスタ in 南福岡車両区

ミニトマト収穫体験ツアー in 熊本

株主さま向けメールマガジンのご案内

当社の株主さま向けに月2回程度、IR情報や株主さま限定イベント、アンケート等の情報をお届けいたします

[🏠](#) > [企業・IR・ESG・採用](#) > [IR情報](#) > [IRライブラリ](#) > [個人投資家向け資料](#) > [メールマガジン](#)

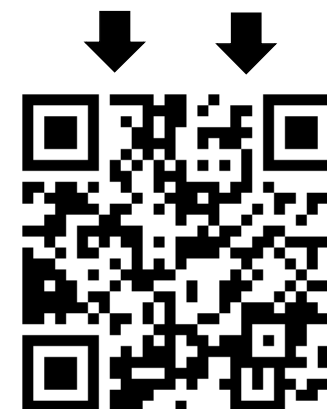
JR九州株主さま向けメールマガジン登録のご案内

JR九州株主さま向けメールマガジンは、当社の株主の皆さまへの情報提供サービスです。以下のパナーをクリックして株主さまの情報をご登録いただきますと、メールで当社の企業情報やキャンペーン情報をお届けします。

※当社の株主さま限定のサービスとなります。

[新規登録（登録料・年会費はありません） >](#)

ご登録はこちら



※本メールマガジンは、トライコーン株式会社のメール配信ASPサービス「クライゼル」を採用しており、申込受付フォームは「クライゼル」のサイトとなりますので予めご了承ください。



将来の見通しに関する記述について

本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外および九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

弊社IR関連資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR九州ホームページ

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/>



ありがとうございました

